

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年2月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (電話) 0993-35-0280
自己評価作成日	令和4年1月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年1月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

どこも同じと思いますが、2年越しのコロナ禍で、散歩などのご近所との交流はもちろん、ご家族との面会もままならない現状です。そんな今は、季節の行事や日々のレクリエーション・コミュニケーションなどを通して、職員や利用者様同士の絆を更に深め合えるよう、出来るだけ寂しい思いをされないよう、職員一同で心を砕いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・入居者はホーム近くの地域で生活していた人が多く、馴染みの場所である。知人等が季節の野菜を収穫したら、野菜の差し入れがある。
- ・食事は、旬の食材を使った「田舎料理」をメインとしている。地域の野菜を手に触れながら、職員と一緒に下ごしらえをする利用者もいる。
- ・手作りの焼き芋をつくり美味しく食べている。
- ・コロナ禍であり、お互いに交流を自粛しているが、食を通し地域との接点を継続できるように取り組んでいる。
- ・職員は家族との信頼関係ができており、困っていることや不安なこと、要望を良く聞いて対応している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者様と共通の理念はフロアに掲げ、介護理念は朝夕目に入る事務所のドアに貼って、共有しています。	理念はフロアや事務所に掲示しパンフレットに掲示している。申し送りやミーティングで、職員全体でケアを振りかえり、理念に沿ったケアができる様に意見を統一し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	事業所は自治会に加入しており、地域の一員です。利用者様の数名は地区の住民なので、敬老会など招待を受けていましたが、現在は停止しています。	コロナ禍であり敬老会等の行事が中止となり、地域とのつながりは自粛している。散歩も施設の駐車場付近が唯一の場である。近隣に住む人と挨拶や少しの対話を行っている。畑の作物の差し入れがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の現在は行えていません。今後、実践していく方法などを考えていかなければと思っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に、書類にて開催しています。利用者様の状況や活動の報告をまとめた資料を、推進委員の方々にお送りし、お目通し頂いて、ご意見や地域・行政の情報を頂いております。	利用者の状況報告やサービス内容・ヒヤリハット・事故報告等を書面で2ヶ月毎に会議参加者へ郵送している。情報や感想・意見・要望等を電話で聞き、事業所のサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>施設の取り組みや現場での困りごとなど、指導して頂きながらケアの向上に努めています。特にコロナ禍の昨今は、正確な情報や対応の方法など、現状に合った指導を頂いております。</p>	<p>市の担当者とは窓口に出向いたり、電話やメールで相談や助言を得たり、情報交換している。相談などはメールで対応している。グループホーム協議会に参加し、交流を深めている。研修会は、積極的に参加する様に取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束廃止委員会」を中心に、毎月のミーティングで身体拘束について話し合い、拘束をしないケアを目指して取り組んでおります。</p>	<p>身体拘束をしないケアの実践について、身体拘束廃止委員会が言葉の拘束も含め研修を2ヶ月毎に実施している。指示命令口調になり、利用者に抑圧感を与えていないか点検し、特に言葉の拘束について取り組みをしている。玄関の施錠はしていない。外出したい時は職員が同行して、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設全体での研修会が出来ない時期であるため、事業所内においては、ミーティング等で拘束同様話し合っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>実際に活用している利用者様への理解を深められるよう、今後も勉強し支援を行っていきます</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に際しては、利用者様とご家族一緒に、施設の重要事項説明書の説明を行い、納得いただけるよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様やご家族と話をする機会には、丁寧に意見を伺うよう努めています。また、利用者様やご家族の代表にも、運営推進会議に参加して頂き、ご意見をいただいています。</p>	<p>利用者からは日頃の関わりの中で意見や要望を聴き、美味しいものを食べたいとか買い物に行きたいとの要望がある。家族からは訪問や面会等を利用し、意見や要望を聞くようにしている。嗜好品や面会について等、意見は運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングや、日々の申し送り時・休憩時間などで、様々な意見交換を行い、必要な事はケアや運営に取り入れています。</p>	<p>ミーティングや申し送り時・休憩時間・お茶の時に意見交換を行っている。介護用品や備品の購入を行ったり、利用者の希望を聴き取り、意見や提案は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の疑問や不満などに代表者が耳を傾け、説明したり改善に努めたりしてくれています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格の取得を勧めたり、意欲を育てたり、個人のスキルアップと、全体のレベルアップを目指して取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会でオンライン交流し、学びや気づきの機会を作っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始の段階では、特に笑顔でご本人の話を傾聴することで、安心して頂けるよう努めております。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申込みの時から、ご家族の相談に親身になって対応し、入所後も細かく要望を伺い支援を行うことで、信頼関係作りに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族と面接してお話を伺い、主治医の診断書やケアマネージャーの話、介護・看護サマリー等の情報も併せ、必要と思われる支援を見極めるよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>洗濯物干し・たたみ、料理の下ごしらえ、飾り物作成など、できる方には手伝っていただき、見学の方も併せて一緒に行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族は、利用者様にとって一番身近で大切な存在です。利用者様をより深く理解していく為にも、職員は毎月の状況をお手紙で知らせたり、面会時には積極的に会話して、信頼関係を築けるよう努めております。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの美容師にカットに来てもらったり、関係の継続を出来るだけ支援できるよう努めています。</p>	<p>コロナ禍の為、家族面会は窓越しで行い、知人や友人の面会は自粛し、手紙や電話での交流を支援している。馴染みの美容師によるカット訪問は楽しみのひとつになっている。馴染みの人や場との関係が、途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションでは、みんな一緒に楽しめるよう目配り・声かけをしています。居室替えや食堂の座席など、利用者様の個性やお互いの関係性を考えて行っています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>元利用者様のご家族とは、お会いしたら、その後のご様子や心配事など話を伺っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションの時間の中で、出来るだけ本人の要望や不安・不満などを把握するよう、また困難な要望にも丁寧に対応するよう努めています。	利用者に職員の担当を決めて、職員はケアの中でコミュニケーションを取っている。表情やしぐさで思いを把握している。困難な時は、家族の情報を得て職員で話し合い支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・かかりつけ医、担当ケアマネなど、ご本人を取り巻く方々から情報を収集して、支援に生かせるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の見守りや支援を通して、ご本人の現状や変化、能力の把握に努めています。情報は職員間で共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議が開催出来ないの で、利用者様本人・ご家族、職員の意見を個々に伺っての計画作成に努めております。	本人や家族の意見を聞き、意見やアイデアを反映させ主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは状況に応じて行っている。訪問医療を通して、医師に報告し意見を取り入れ、適切な介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録と介護日誌は、すぐ手に取れる場所に置いてあり、いつでも情報の共有・確認ができます。共有した情報を、ケアの計画・実践・見直しに役立てています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>時に大きく変化するご本人やご家族の状況には、支援やサービスの形も柔軟に対応します。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご本人が、それまで築いてこられた地域との関わり、生き方・楽しみなどが、なるべく継続出来るよう支援しております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>コロナ禍や施設での利用者様の状態変化を鑑み、ご家族・ご本人のご理解を頂いて、訪問診療への切替を行いました。</p>	<p>事業所の協力医を希望する利用者が多いが、本人及び家族の希望するかかりつけを受診している利用者もいる。訪問診療は2ヶ月毎にあり、診察の結果は家族に報告している。事業所の看護師による健康管理を行い、適切な医療を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員と看護師は情報を共有し、各利用者様の健康確認に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>往診時に情報提供したり、相談事を連絡したりして、普段から関係づくりに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化された時の意向をご家族に伺っています。ターミナルケアについては、必要時に相談を行っています。</p>	<p>重要事項説明書にて、看取りについて説明し、本人及び家族の意向を確認し同意を得ている。重度化に伴い医師より説明を行っている。現在看取りの取り組みはしていないが、今後の課題としている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的ではないが、緊急連絡網の確認を行っています。必要な諸訓練等を現在は行えていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害別のマニュアルを作成します。地域の自主防災協力隊の方々との訓練は、コロナ禍で行っていません。</p>	<p>年に2回利用者と共に避難訓練を実施している。コロナ禍の為、消防署立ち合いは1回のみで防災設備業者に依頼し、消火器の点検等を行っている。車いすの利用者も多く、避難誘導で課題もある。コロナ以前は地域住民の参加・協力を得ながら避難訓練が実施できていた。備蓄は水・缶詰・レトルト食品・缶詰のパンがある。カセットコンロや笛・簡易トイレ等もある。地震の訓練は今後の課題である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとり、その方に合った言葉遣い、尊重した言葉遣いに努めています。また、居室・浴室・トイレなどドアを閉めて、プライバシーの確保にも気を付けています。	合同研修会や勉強会を実施し、身体拘束・権利擁護・虐待等について理解を図っている。入浴・排泄等プライバシーの確保にも努めている。ケア時は、利用者の気持ちを損ねない声掛けや誘導を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	担当の職員を中心に本人の思いや希望を引き出せるよう、意識して会話しています。そして出来るだけ、本人の自己決定を尊重するようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	危険の無い限り、起・臥床、入浴や外気浴など、出来るだけ希望に沿うよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類・化粧品・サプリメントの購入や、白髪染め・パーマの希望など、その方の思いやこだわりを大切にして、楽しく生活できるように支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を活用した昔ながらの献立を、職員は持参のお弁当であります。一緒にいただきます。嫌いなメニューや食べ物は、代替りの物を提供し、会話も楽しみながら食べています。	母体施設のメニューを参考に調理担当者が食事を作成している。野菜の下ごしらえ等を利用者と共に行い、職員も一緒に音楽を聴きながら食事をしている。行事食や誕生日食を提供しバーベキューやそうめん流し等も楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に水分摂取は、様々な飲み物・果物などを提供し、必要量を確保出来るよう工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声掛けを行い、できない方や不十分な方の介助を、毎食後行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	訴え時や定期的なトイレ誘導を行い、排泄パターンを掴み、おむつの使用減と自立支援を目指しています。	排泄パターンを把握し、尿意の無い利用者には時間や身体の動きを把握しトイレでの排泄を支援している。夜間のみオムツやポータブルトイレ利用者等がある。個々に合わせてトイレの見守りや排泄の自立に向けた支援をしている。おむつ・リハビリパンツ・尿とりパットの組み合わせを考慮し負担の軽減にも努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師を中心に、排便確認と下剤調整の情報共有を行い、便秘の改善に努めています。お茶時は芋類を取り入れ、外気浴に出られ、飲み易い物での水分量確保にも取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の希望には出来るだけ対応するようにしています。拒否が続く時は、声掛けやタイミングを工夫したり、足浴や陰部洗浄の支援に変えるなどの対応をしています。	入浴は週に2回午前中、1対1の介助で支援している。入浴剤やゆず湯で入浴が楽しみとなるように支援している。普段話さない利用者も、気持ちを聞くことができる。入浴を拒む場合は、無理強いせず、時間や声掛け等を工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝環境を整えて、いつでも気持ちよく休めるようにしています。眠れない方には、話し相手になったりして、安心できるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別記録簿に、それぞれの内服説明書を添付して、情報を共有しています。看護師が内服の管理を行い、確実な服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ここで仕事をしていると思っている方、頑張っている方に帰る野菜を作ろうと思っている方、美味しい物を食べたいと楽しみにお話しされる方など、否定せず張り合いを持って、生活して頂けるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	月に1回、娘さんが一緒に昼食を摂ったり、自宅を見に連れて行って下さる方はおられますが、他の方々はコロナ禍でもあり、外出は出来ていません。	日常は近隣の散歩や事業所内の散歩で外気浴や日光浴をしている。利用者は外に出たい要望があるが、コロナ禍であり自粛している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、現金をお持ちの利用者はいらっしゃいません。買い物をご希望の際は、施設で立替して職員が買い物代行しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	県外在住の子供さんに手紙を出される方、贈り物へのお礼状を書かれる方など、その都度支援しています。携帯電話をお持ちの利用者様には、自室での電話対応をお願い致しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは天井が高く開放感があります。季節の飾り付けを行い、浴室・トイレなどには、解り易いように案内をしてあります。空調に気を付けて、空気の入れ換えを定期的に行っております。	フロアは天窓があり日光が入り室内は明るい。季節の飾り付けを行い楽しい雰囲気をつくっている。空気清浄機等を設置し、コロナ感染防止の為の対策をしている。テーブルとイスがあり、テレビを見たり新聞等を置き、指定の座席で思い思いに手作業をしたり、穏やかに居心地よく過ごしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアのテーブルの位置や座る場所も、利用者様が心地よく過ごせるよう、利用者様同士の関係性をポイントに、工夫・検討しています。ソファや和室など、自分の居心地の良い場所で過ごせるよう支援しております。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅同様、位牌を置いたり椅子や洋服掛けを、使い易いよう置いて頂いています。その他、ベッドやタンスなどの配置についても、希望に合わせて、安全に過ごせるよう工夫しています。</p>	<p>ベッド・エアコン・クローゼットを設置している。寝具・鏡・位牌・写真・時計・加湿器など持ち込んでいる。馴染みの物で利用者が居心地よく過ごせる様に利用者と相談しながら支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ADLや認知度の変化に応じて居室の変更を行っています。建物内部は余計な物を置かず、危険の無いよう配慮しています。居室内部は、自力で安全に動けるよう、ベッドやPWC・タンスなどの位置を工夫しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない